

インド国北東州道路網連結性改善事業
(フェーズ2)
(協力準備調査(有償))
ドラフトファイナルレポート

日時 平成28年12月12日(月)13:59~14:09

場所 JICA本部 111会議室

(独)国際協力機構

助言委員（敬称略）

殖田 亮介	みずほ銀行 グローバルプロジェクトファイナンス 営業部 グローバル環境室 室長
虎岩 朋加	敬和学園大学 准教授
長谷川 弘	広島修道大学 人間環境学部及び経済科学研究科 教授
松本 悟	特定非営利活動法人 メコン・ウォッチ 顧問 / 法政大学 国際文化学部 教授

JICA

< 事業主管部 >

岩井 伸夫	南アジア部 南アジア第一課 企画役
藤原 秀亘	南アジア部 南アジア第一課
村上 孝太	南アジア部 南アジア第一課

< 事務局 >

渡辺 淳	審査部 環境社会配慮審査課 課長
土生 真弘	審査部 環境社会配慮審査課

オブザーバー

< 調査団 >

駄竹 清志	株式会社パデコ
佐々木 直子	株式会社パデコ
豊島 淳子	株式会社パデコ
中村 純	大日本コンサルタント株式会社
土屋 潤	大日本コンサルタント株式会社
湊 周介	株式会社日本開発サービス
内藤 久稔	日本工営株式会社
長井 崇泰	日本工営株式会社

インド国北東州道路網連結性改善事業（フェーズ2）
（協力準備調査（有償））
ドラフトファイナルレポートワーキンググループの論点

本ワーキンググループにおける論点は以下の通り。

1．用地取得時の被影響住民の保護

委員より、非自発的住民移転の実施段階における他の事例では、土地取引ブローカーによる被影響住民の詐欺被害や補償支払の遅れに伴う借金によって生活環境が悪化するケースがあることが指摘された。このため、JICA は補償方針の確認のみならず実施機関がより積極的に被影響住民を保護するよう促すべき、との提案がなされた。

JICA 環境社会配慮ガイドライン上、「補償は事前に行われなければならない」と規定されており、JICA は住民移転計画の実施のモニタリングを通じて、このような事象の発生の有無を確認していることが JICA から説明された。JICA の環境レビュー時には、実施機関に必要な対策が取られるよう申し入れを行う旨助言がなされた。

2．ジェンダー構造を踏まえた配慮

事業実施地域で多数派を占めるミゾ族やカシ族はインド国憲法上の指定部族であり、特有の伝統文化を有している。それぞれの文化的背景を踏まえて、工事期間中の優先雇用の必要性が実施機関と検討された旨 JICA 側より委員に説明がなされたが、ジェンダー配慮として女性に対して優先的な雇用を提供することが却って女性の負担を過度に増やしてしまう可能性もあることから、各地域のジェンダー構造を踏まえた上で必要な対策が検討されるよう指摘がなされ、JICA から適切な配慮を実施機関に働きかけることとなった。

3．共有地の土地利用状況を踏まえた対策

事業実施地域には、特定の個人や世帯に属しないと考えられる共有地がある。このような共有地の取得を行う際の調査においては、明確な権利を持たない伝統的な利用なども想定されることから、行政等からの既存情報のみではなく、当該共有地の実際の利用者等から土地利用の状況を可能な範囲で把握し、必要となる補償等の対策を検討する必要があるとの指摘が委員よりなされた。

4．森林伐採への対策

事業実施地域には森林が多く存在しており、道路の拡幅やバイパスの新設に伴って森林伐採が必要となる。委員より、植林の本数のみならず樹種や生態系への影響の面からも対策を検討するよう指摘がなされた。JICA からは、同国国内法に沿って州政府の森林部局からの指示を踏まえて代償植林を行う計画となっているため一定の制約はあるものの、代償植林の適切な計画策定及び実施について、実施機関を通じてモニタリングする旨説明された。

以上

インド国北東州道路網連結性改善事業（フェーズ2）
（協力準備調査（有償））
ドラフトファイナルレポート

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
【全体事項】				
1.	NH54-DFR, p.156	8.5.2に「～特定のバイパスにのみ該当する場合は、別途説明を記載した。」とあるが、例えばどの記述か？（質）	長谷川委員	特定のバイパスのみに該当するのは「非自発的住民移転」とその関連項目のみで、その他の項目はすべてのバイパスに該当します。左記ご指摘の記述は「住民移転が発生するのはバイパス1およびバイパス2のみであるため、非自発的住民移転関連の項目については、バイパス1およびバイパス2での影響について検討しているが、その他の項目はすべてのバイパスの影響について検討している」とFRにて修正し、またマトリックス内の記述も修正します。
2.	NH54 DFR150-155	代替案検討の第一段階と第二段階の内容を確認したい。第一段階で代替案No.3（バイパス）を採用し、そのうち人口の多い4集落のバイパスを第二段階として今回DFRにかけているということか？その場合、代替案No.3の人口4千人未満の集落部分はどうなるのか？（質）	松本委員	ご理解の通りです。バイパスを建設しないその他の集落については、フェーズ1の本線拡幅事業の対象となります。
3.	NH40 DFR251	メガラヤ州政府の資源輸送計画ではどの程度当該道路の輸送量が増えると見込まれるのか？（質）	松本委員	5%は間違いであり、正しい年間増加率は、2005-2020年平均で9.14%、2014-2020年平均で8.89%です。FRで修正します。
4.	40-DFR, p.253-254	表7-20でなく表7-23では？「事業を実施しない案」の「事業費」と「用地取得の可否」は◎とすべきでは？（質）	長谷川委員	表番号は全体を確認しFRにて修正します。表7-23についてご指摘の項目の評価は◎に修正します。
5.	40-DFR, p.255	表7-21中の「Factor of Importance」（重み付け）はどのように設定されたのか？また、当表とスコーピングマトリックスはどのように関連付けられているのか？（質）	長谷川委員	スコーピングの結果に鑑みて「影響度の高い項目（A）を10~8、Bは7~5、Cは4~1点」と数値化したことをFRに記述します。

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
6.	40-DFR, p.318 -322、 54-DFR, p.174-178	表 7-61（表 8.6-9）では、スコーピング時とアクセス調査時での影響評価が比較されているが、そもそもスコーピング時に「D」（今後の調査は不要）とされた項目まで調査している意図は？（質）	長谷川 委員	<p>スコーピング評価と調査結果を比較できるよう併記しましたが、スコーピング段階で「D」と評価されたものについては、基本的に調査は行っておりませんので、表の意図をよりわかりやすくするため、影響評価表（NH54 の表 8.6-9、NH40 の表 7-61）では、評価を N/A（Not Applicable）とし、評価の理由を削除します。</p> <p>なお、スコーピング段階助言委員会資料作成時に D 評価とした項目のうち、現地踏査やステークホルダー協議等を通じて調査の必要性が明らかになったものについては、C 評価に修正します。（NH54 の「土壌汚染」、NH40 の「底質」「配慮を要する施設」。）</p> <p>また、DFR での記述に間違いがありましたので、FR では NH54 の「保護区」の供用時評価は B-から D に修正、「非自発的住民移転」の工事中評価は A-から D に修正します。</p>
7.	40-DFR, p.263-269	表 7-42 中の影響予測・評価は対策前についてか、あるいは対策後についてか？（質）	長谷川 委員	「表 7-24：環境社会配慮調査の TOR」中の「影響予測・評価」では、対策前の影響を予測・評価するものと考えています。その上で緩和策を検討しています。
【環境配慮】（汚染対策、自然環境等）				
8.	NH40DFR p302 (2) 影 響予測・評価 ア)大気質	米国に比べインドの方が自動車エンジン・ガソリンの質が劣り、老朽化も進んでいると考えられます。米国基準での排出量見積もりでは過小評価となる虞はありませんか。（コ）	殖田 委員	近年のインドでは燃料の質並びに車両の整備状況を厳しく取り締まっており、日本の車検に似たシステムで車両の排気ガス等を監視しています。事業対象地域では大気環境基準は満たされていることから、米国基準を用いて排出量を見積もることも供用後の影響予測と評価は可能と考えられます。なお、工事中供用後ともにモニタリングを通じて大気への影響がないよう確認を行う予定です。
9.	NH40DFR p288 のエ) 緩和策	「約 253ha の植林を実施することが望ましい」とありますが、実施することは担保されているのでしょうか。また、その場合、植林の場所は決まっているのでしょうか。（質）	殖田 委員	スコーピング段階の助言 15 において、「CO2 の吸収固定効果の喪失（供用後）について、その予測・調査の結果を DFR に記述すること」とあり、その調査結果を DFR に記述しています。約 253ha には、本事業の供用後に排出される CO2 を吸収するのに必要とされる森林面積 128.98ha 分が含まれています。これは、森林局による植林には含まれず、本事業に付随する影響に対する「提案」となっております。DFR では本事業の緩和策のように見えることから、FR では修正します。なお、DFR の環境管理計画においては、当該 128.98ha の植林を行うという対策は含まれていません。
10.	NH40DFR p290 のキ) 緩和策	①「森林面積 128.98ha が必要となる」とありますが、植林することは担保されているのでしょうか。また、その場合、植林の場所は決まっているのでしょうか。	殖田 委員	また、森林伐採に対する植林（123ha）の場所は、森林伐採許可の承認プロセ

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
		<p>②この 128.98ha は、項番 3 の 252ha に含まれているという理解でよろしいでしょうか。</p> <p>③「年間 13ha の植林を実施すると仮定すれば、10 年間で本件事業が排出する GHG を弁済することが可能になる」とありますが、伐採されるのは成木、植林されるのは苗木と推測します。成木と同じ効果を生み出すまでもっと時間がかかるのではないのでしょうか。（質）</p>		<p>スの中で州政府森林局から指定されることになっています。事業承認が得られた後森林伐許可の手続きが実施機関によって実施される予定です。</p> <p>成木と同じ効果を得るには一定の時間が掛かるという指摘はその通りと考えられます。ご指摘を踏まえて、「年間 13ha の植林を実施すると仮定すれば、10 年間で本件事業が排出する GHG の弁済に必要な面積は確保できることになる」と FR にて修正します。</p>
11.	NH40DFR P290 のク) の緩和策同、p291 ケ) の緩和策	伐採されるのは成木、植林されるのは苗木と推測します。木が生長し、生息地が回復するまで鳥類を含む野生動物に対する保護施策はあるのでしょうか。（質）	殖田委員	植林は主に森林伐採に対する緩和策として含めております。森林が減少傾向にあるメガラヤ州において植林することで野生動物の生息域減少の緩和に寄与するとは考えられません。成木と同じ効果を得るには一定の時間が掛かるという指摘はその通りと考えられますため、工事期間中の観察や供用後のモニタリングを通じて負の影響を回避するよう対策を行います。なお、本調査の現地踏査の結果、鳥類を含む希少な野生動物の生息は確認されていません。
12.	NH40 DFR288	生物多様性への負の影響に対して植林によって十分緩和できるのか？（質）	松本委員	
13.	NH40 DFR290	動物保護区への影響を緩和するための植林面積、場所、樹種はどう考えられているのか？（質）	松本委員	植林面積、場所、樹種は州政府森林局が規定に基づき今後検討を行いますので、州政府森林局の指導に従い植林を行う予定です。なお、Upper Shillong Forest Area はメガラヤ州森林法に沿って州政府によって Protected Forest に指定されておりますが、当該森林自体の生物学的価値の保護を目的としたものではなく、森林局の許可に基づき開発可能な地域となっております。動物への影響については、主に工事期間中の観察や供用後のモニタリングにより影響を回避する予定です。
14.	40-DFR, p.264	評価方法があいまいな項目があるが、例えば「1.10 景観」や「1.11 自然災害」の評価の考え方や評価基準は何か？（質）	長谷川委員	例えば景観については、重要な施設・風景等があるか等を評価の基準として検討し、影響が少ないものと判断しました。自然災害については、「河川や道路並びに居住地への洪水」及び「豪雨による斜面崩壊」のリスクを評価基準としています。評価方法の記載があいまいなものについては FR に追記します。
【社会配慮】（住民移転、生活・生計、文化遺産、景観、少数民族、先住民族、労働環境等）				

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
15.	NH40DFR p347-p348 表 7-86 vs NH54DFR p127 表 8-2-1	NH54 では関連法令として、National Rehabilitation & Resettlement Policy, 2007(NRRP2007), WB OP4.12-Involuntary Resettlement, WB OP4.10-Indigenous Peoples, JICA ガイドラインが挙げられていますが、NH40 では言及ありません。この差異はなぜでしょうか？（質）	殖田委員	NH40 の DFR では、OP4.10 に関連する対応については、左記の場所では記述しておりませんが、383 頁以降の 7.11.11 にて説明しており、関連法令として検討を行っています。 また、「7.11.2 (2) 用地取得・住民移転にかかるイ国・メガラヤ州法制度の概要」では相手国側の法制度を対象にしているため、世界銀行の OP4.12-Involuntary Resettlement や JICA ガイドラインは自明のことから言及はしていませんが、表 7-87 のギャップ分析では検討を行っています。National Rehabilitation & Resettlement Policy, 2007 (NRRP2007)については、実施機関によると、旧土地法 (Land Acquisition Act,1894) に定めのない生活再建・住民移転について補完するものであり、LARR2013 法制化後、メガラヤ州は LARR2013 の規定に従うことを確認しているため、NRRP2007 への言及は不要と判断しました。
16.	NH54DFR p153	表 8-4-2 代替案の比較表では、住民移転規模は約 200 世帯～5,000 世帯となっていますが、本件プロジェクトの実際の移転規模は20世帯 (P125, P155, P158 など) となっています。最適コースにしたら更に要移転世帯数が減ったということでしょうか？それとも表 8-4-2 は PAH の世帯数のことでしょうか？ (NH54-RAP Table2.1) (質)	殖田委員	表 8.4-2 の代替案の比較表は国道 54 号全区間(約 350km)を対象とし、本件プロジェクトの移転規模は国道 54 号バイパス(4 箇所計約 25km)のみを対象としています。表 8.4-2 の代替案 No.3 での移転世帯数 (約 200 世帯) は、調査の初期段階の数値であり、約 48 か所の集落をバイパスで迂回するとした場合の、各バイパスの起終点区間およびバイパス区間以外に点在する移転世帯の概算集計値です。一方、国道 54 号バイパス計画では、調査の初期段階の移転世帯数は約 60 世帯でしたが、住民移転を最小化する線形計画並びに斜面对策工等の採用により移転世帯数を 20 世帯迄縮小しました。
17.	NH54 DFR211	補償対象住民を悪質なブローカー被害から守るための対策を講じるべきである。(コ)	松本委員	住民協議の場で、ミゾラム政府側より「政府がそうしたブローカーを使うことはないの、相手にしないで欲しい。何かあれば、いつでも問い合わせで欲しい」と説明しております。今後も、住民が不利益を蒙ることがないように、実施機関を通じて働きかけを行います。
18.	NH40 DFR373 NH54 DFR210	損失補償策については、移転に伴う生産活動の一時中断や補償の支払い遅れ等に伴う借金をカバーする仕組みを盛り込むこと。(コ)	松本委員	補償支払いの遅れ等が生じないように、RAP 実施支援及びモニタリングが行われる予定です。
19.	NH40 DFR372-373	生活再建策の期間は、特に農民が職業訓練をするなど生計手段の大幅な変更を伴うような場合にはかなり長く設定し、「自立促進」の大義名分のもとに短期間に留めることがないようにすること。(コ)	松本委員	生計回復支援は、事業実施前と比較して生活水準が改善もしくは少なくとも同じレベルまで回復することが求められます。住民移転計画の適切な実施がなされるよう実施機関の支援及びモニタリングが行われる予定です。

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
20.	NH40 DFR375-37 7	一定期間、苦情処理メカニズムには JICA が関わった方がいいと考えるが、なぜ入っていないのか？（質）	松本 委員	苦情処理メカニズムは実施機関の責任において行われ、JICA はモニタリング報告を通じてそのメカニズムの運用状況をモニタリングすることになります。
21.	DFR_NH54 bypass, p. 172	「EIA 報告書では、女性についての方針や配慮をまとめた章を作成し、工事に伴い発生する雇用機会のうち、女性でもできる仕事については優先的に女性を雇用するなどの施策を提言している」とあるが、その章が見当たりませんでした。「女性にでもできる仕事」ということの意図を教えてください。（質）	虎岩 委員	EIA ではなく、RAP 報告書（第 7 章）の間違いでしたので修正いたします。また、「女性でもできる」という記載は、「女性が従事しやすい」と FR で修正します。女性が従事しやすい仕事としては、建設工事現場での重労働ではなく軽作業、また、子供がいる女性が短時間で出来るパートタイムの作業を想定しております。
22.	DFR_NH54 bypass, p. 173	「建設工事従事者、トラック運転手等に、HIV/AIDS のリスクを説明したパンフレットを配布する等の施策により、注意喚起、啓蒙活動を行う。」とありますが、啓発活動対象者を上記に限った理由を教えてください。性的暴力も含めた性的行為に関係しうるグループとしては、現地コミュニティにおいては、どのようなグループがありえますか？（質）	虎岩 委員	ミゾラム州は、インドの中でも HIV/AIDS の罹患率が 2 番目に高く（最も高いのは、隣接するマニプール州）、州政府（Mizoram State AIDS Control Society）や国際機関（UNODC）、NGO により、啓発活動を含め様々なプログラムが既に実施されているため、本事業の啓発活動は、事業実施に直接関係するグループを対象としました。「等」の対象が明確ではありませんでしたので、啓発活動の対象には建設工事が実施される地元コミュニティも含まれることを FR では明記します。 この他、性的暴力も含めた性的行為に関係しうるグループとしては、若者やアルコール・薬物中毒患者などがありますが、これらの対策としては、例えば州内の大学では、Red Ribbon Club が設置され、HIV/AIDS の感染経路や予防法などについての情報提供を行っています。また、関連する現地市民団体として、女性のエンパワメント活動を行っている Mizo Hmeichhe Insuihkawm Pawl (MHIP) やアルコール・薬物中毒患者への支援を行っている Agape Moral Reformation Organization などがあります。
23.	DFR_NH54 bypass, p. 173	上記にかかわらず、施策を啓発活動に限るのはなぜでしょうか。（質）	虎岩 委員	上記 Mizoram State AIDS Control Society により、州内各地に Integrated Counseling and Testing Centre (ICTC) や Anti Retroviral Therapy Center (ART) が設置され、カウンセリングや検査、治療活動が実施されています。既に様々な対策が実施されていること、また、州内での HIV/AIDS 対策は本事業の実施機関ではなく、州政府の管轄であることを踏まえ、本事業では、啓発活動を実施することとしています。

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
24.	NH40 DFR357	氏族間の境界線をめぐる係争は関係氏族が納得いく解決方法を模索し、困難な場合も決して強引な手段を用いず、線形や道路幅の再見直しを含めた検討をインド政府と行うこと。 (コ)	松本 委員	地元での協議は継続して行われておりますが、強引な解決方法が取られないよう十分に配慮する旨実施機関や州政府、地元行政等に申し入れます。
25.	NH40 DFR365-36 6	共有地の利用状況を現地踏査で把握できないのはなぜか？（質）	松本 委員	メガラヤ州では土地登記や測量調査、所有者のリスト化が十分に行われておらず、家屋から離れた土地、特に森林や荒地について把握が困難であったことによります。今後も継続して詳細な情報収集を行い、所有者情報の把握に努めます。なお、LARR2013の下で社会影響評価調査が開始されると、州政府がより正確な利用状況を確認することとなります。
26.	NH40DFR, pp. 262-263	上記21、22（原文では、5、6）にかかわる事項は、NH40の方に含まれていないようですが、少数民族の違いによる、状況の違いなのでしょう？（質）	虎岩 委員	RAPの中に「Chapter 10 Gender」を設け、ジェンダーに対する配慮について記載しています。女性の優先雇用については実現可能性が不確かであり、男女別の施設を設けるなどの環境整備を重視しています。 また「7.7.4 社会環境に対する主な影響」の「(12) 公衆衛生(伝染病)と労働安全衛生」および「7.9.1 環境管理・モニタリング計画の概要」の中で、セクハラや性的暴力を防止するための教育の必要性について記載しています。
27.	NH40DFR, 172	幼稚園生の通園時の安全の確保のための方策について教えてください。(コ)	虎岩 委員	通学・通園時の安全対策として、通学経路を示す交通標識の設置や横断歩道の設置、カーブの改良や濃霧発生区間におけるデリネーターの設置により安全の確保を図ります。
28.	NH40DFR, p. 344	「カシ語の資料を表示または配布した。」 「RAPをカシ語訳で作成することとした。」とあるが、文字の読めない住民にはどのような対応がなされたのでしょうか。(質)	虎岩 委員	口頭での説明もすべてカシ語で行いました。
29.	40-DFR, p.337	社会環境に関わる供用時モニタリングは必要ないか？ また自然環境も含め供用時モニタリングの頻度に加え期間（いつまで実施）も必要では？（質）	長谷川 委員	自然環境も含め、環境モニタリング計画については、工事中・供用後ともに継続的に実施されると想定しています。JICAの事業としては供用開始後2年間モニタリング結果報告を受けることとなります。 用地取得や補償実施状況、生計回復支援の実施状況は、RAPモニタリングに含まれますが、RAP実施期間中定期的にモニタリングを行う想定です。RAPモニタリングの記載漏れはFRにて追記します。

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
30.	NH40DFR p312 (9) 宗教施設-緩和策	「騒音公害については7.2.2(5)に記述した」とありますが、7.2.2(5)がありません。(コ)	殖田委員	7.7.3(2) エ) の誤りです。なお、「連続性が失われ」は、騒音と関係ないので削除します。
【ステークホルダー協議・情報公開】				
31.	NH40DFR P386-389	一連の協議には、指定部族、特定カーストの参加もありましたか。(質)	殖田委員	事業対象地域は指定部族であるカシ族・ジャインティア族（キリスト教および伝統宗教が主流）が多数派の地域です。ヒンドゥー教に基づく特定カーストも居住しています。ステークホルダー協議の際にはこれらの住民にも幅広く参加を呼び掛け、参加しています。
32.	NH40 DFR386-389	線形に対して合意していない1つのコミュニティがその後どうしているのか、また生計回復策への具体的な意見・対応がDFRには十分記載されていない。生計回復策に対して住民はどのような要望を述べているのか、今後協議はどのように進めていくのか、説明して欲しい。(質)	松本委員	線形に対して合意していない1つのコミュニティに関しては、実施機関や州公共事業省、州議を通じた協議を継続しています。ステークホルダー協議においては生計回復策よりも補償方針について質問が集中しました。
【その他】				
33.	40-DFR, p.342,432	費用便益分析の費用には環境対策・モニタリング費用 (p.342) も含まれているか？ その上でのEIRR=16.6%か？ (質)	長谷川委員	費用便益分析の費用には環境対策・モニタリング費用も含まれており、その上でのEIRR=16.6%です。
34.	54-DFR, p.12-13, 115-118	こちらの費用便益分析には環境対策費用 (p.115-118) も含まれていると考える。しかしEIRRは経済評価基準12%すれすれ（全バイパスではそれ以下）であり、さらに感度分析を行った場合、プロジェクト実施の社会的妥当性は危ういのではないか？ (質)	長谷川委員	国道54号のプロジェクト対象区間は大部分が稜線付近に位置しており、バイパスが計画される4箇所の主要市街地も、斜面上の狭隘な用地に稜線に沿って開発された国道54号の沿道に集落や商店が連なり、このような区間がつづら折りになることにより形成されています。従って、既存道路の拡幅は物理的に困難であり、また大規模な用地補償も伴うためほとんど不可能です。一方で国道54号は州の大動脈となる主要幹線道路であり、その幹線機能を担保するため、このような主要市街地についてはバイパスを計画しましたが、近隣に道路建設が安価となる平坦な地形は存在せず急峻地形上への計画となるため平坦地の道路と比較して工事費が2~3倍となるためEIRRは相対的に低くなっています。

NO.	該当ページ	事前質問（質）・コメント（コ）	委員名	回答
35.	NH40DFR P251, 252	(2)代替案の分析-2)道路拡幅案、3)バイパス挿入案:DPR 案、4)バイパス挿入案：JICA 調査団案の「正の影響」に「道路状況の改善によって車両速度が高速化され、交通事故が増加する可能性がある」とあります→「負の影響」のほうです。(コ)	殖田 委員	FR にて修正します。
36.	NH40DFR P126 vs NH54DFR P126	NH40DFR では「環境・森林・気候変動省(MOEFCC)」、NH54DFR では「環境森林省(MOEF)」となっています。統一すべきでは？(コ)	殖田 委員	FR にて「環境・森林・気候変動省(MOEFCC)」に統一します。
37.	NH40DFR P389	タイプミス 「ぼっくるカルバート」→「ボックスカルバート」(コ)	殖田 委員	FR にて修正します。
38.	NH40DFR P225,226,227 他	「図 X-XX エラー！参照元が見つかりません」が随所に見られます。(コ)	殖田 委員	
39.	NH40DFR P222 図 7-9	図が欠落しています。(コ)	殖田 委員	
40.	DFR	誤字が散見される。例えば NH54DFR170（土地利用）の「盛度」、206（モニタリング及び評価）の「整形医回復策」など（助言に残す必要なし）	松本 委員	
41.	全体	文字の間違いが、散見されます。(コ)	虎岩 委員	